日本の自然・防災

名前

問1　河川が運んできた土砂が河口付近に積み重なってできた、平坦で標高が低く、網の目のように枝分かれした水路に囲まれている地形を何といいますか。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 砂州
2. 三角州（デルタ）
3. 扇状地
4. 台地

問2　ある中学生のグループが「防災・安全」をテーマに調べ学習を行いました。その際、京都市内の避難場所や、自然災害が発生した際の被害想定区域、安全な避難経路などを地図上にまとめた資料を活用しました。このような資料の名称として最も適切なものはどれですか。（2017年 京都府公立入試 類似）

1. 都市計画図
2. ハザードマップ
3. 土地利用図
4. 地形図

問3　日本の四季折々の年中行事は、それぞれの時期や目的が深く結びついています。次の説明のうち、内容が正しいものを選びなさい。（2017年 山口県公立入試 類似）

1. 五月に行われるひな祭りは、女の子の成長を願って雛人形を飾る行事である。
2. 十一月に行われる七五三は、三歳・五歳・七歳の子供の成長を祝う伝統行事である。
3. 三月に行われる端午の節句は、男の子の成長を願って鎧や兜を飾る行事である。
4. 四月に行われる灌仏会は、秋の収穫に感謝するために全国の農村で行われる行事である。

問4　島根県の松江市に見られる「日本海側の気候」の統計資料では、12月や1月の降水量が他の月に比べて際立って多くなる傾向があります。この理由を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 滋賀県公立入試 類似）

1. 冬から春にかけて吹く偏西風が、大陸からの乾いた空気を直接運び込むため。
2. 冬の期間だけ暖流の勢いが増し、地表付近の空気が急激に冷やされて霧が発生するため。
3. 冬に吹く北西の季節風が日本海の上空で湿気を蓄え、山地を越える際に雪や雨を降らせるため。
4. 夏から秋にかけて発生する台風が、日本海側で勢力を強めることが多いため。

問5　長崎県の佐世保市から平戸市にかけて広がる「九十九島」周辺の海域では、複雑に入り組んだ入江と、海上に点在する多くの島々が織りなす景観を見ることができます。このような、奥行きのある湾と岬が連続して入り組んだ複雑な海岸地形を何と呼びますか。（2024年 愛知県公立入試 類似）

1. 砂州
2. 扇状地
3. リアス海岸
4. 三角州

問6　宮城県の三陸海岸沿いにおける養殖業の収穫量を北海道の西岸と比較した統計では、宮城県の数値が北海道の約千倍近くに達することがあります。このように三陸海岸で養殖業が極めて盛んである地理的な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 石川県公立入試 類似）

1. 海岸線が直線的で水深が深いため、大型の漁船が直接接岸でき、遠洋漁業と養殖を効率的に組み合わせられるため
2. 奥行きのある深い入り江が連続するリアス海岸であり、外海の激しい波が遮られて水面が穏やかになるため。
3. 広大な砂浜海岸が続いており、太陽の光が海底まで届きやすく、プランクトンが大量に発生する環境であるため。
4. 大規模な干拓によって人工的な入り江が作られており、潮の満ち引きを自由に制御して養殖を行えるため。

問7　日本の世界自然遺産に関する特徴をまとめた資料において、所在地が青森県と秋田県にまたがり、その価値として「東アジア最大級の原生的なブナ林」と説明されている地域について、その登録理由として最も適切なものを選びなさい。（2024年 山形県公立入試 類似）

1. 樹齢1000年を超えるスギの巨木が自生し、特殊な植物の垂直分布が見られるため
2. 大陸と一度も陸続きになったことがない島々で、独自の進化を遂げた固有種が多いため
3. 人為的な影響をほとんど受けていない貴重な生態系が維持されているため
4. 流氷の影響を受けた海と陸の豊かな食物連鎖が確認できるため

問8　日本の河川の「流路が短く、傾斜が急である」という特色が、人々の生活や防災に与える影響として、背景を含めて正しく述べているものはどれですか。（2017年 広島県公立入試 類似）

1. 大雨が降ると短時間で洪水が発生する危険がある一方、急流を活かした水力発電に利用されてきた。
2. 水の流れが常に一定で緩やかであるため、大規模な堤防を築く必要がなく、水上交通が発達した。
3. 一度に大量の水が流れることはないため、渇水対策よりも土砂崩れ対策が優先される傾向にある。
4. 河川の傾斜が急であるため、土砂が運ばれにくく、下流域に平野や三角州が形成されることはない。

問9　日本列島の地形を東日本と西日本に大きく分ける、日本アルプスの東側に位置する帯状の地域を何と呼びますか。（2014年 和歌山県公立入試 類似）

1. シラス台地
2. 火山前線
3. 中央構造線
4. フォッサマグナ

問10　地形図において、アルファベットの「Y」のような形で示される地図記号があります。これは、かつて日本で広く行われていた産業に深く関わっている植物の栽培地を表していますが、この記号が示すものは何ですか。（2025年 北海道公立入試 類似）

1. 広葉樹林
2. 茶畑
3. 果樹園
4. 桑畑

問11　日本列島の周辺海域を流れる海流のうち、赤道方面から暖かな海水を運び、太平洋に沿って本州の南岸から北東方向へと進む、別名「黒潮」とも呼ばれる暖流の名称を次の中から選びなさい。（2019年 愛媛県公立入試 類似）

1. 千島海流
2. 対馬海流
3. リマン海流
4. 日本海流

問12　石川県の能登半島付近から和歌山県の紀伊半島南部にかけて、地形の断面図を作成したと想定します。この区間の地形の配置と標高の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 兵庫県公立入試 類似）

1. 近畿地方の中央部に広大な盆地が広がっているため、断面図の中央部分は標高がマイナスとなり、周囲を100メートル程度の低い丘陵が囲んでいる。
2. 日本海側から太平洋側まで、標高の変化がほとんどないなだらかな平野部が続いており、大規模な山脈は存在しない。
3. 日本海側から標高が上がり、飛騨山脈などの険しい山岳地帯を越えた後、濃尾平野などの標高の低い地域を経て、再び紀伊山地の険しい山並みが現れる。
4. 能登半島付近が最も標高が高く、南下するにつれて標高が一定の割合で下がり続け、紀伊半島南端で海抜ゼロメートルに達する。

問13　北東から南西にかけて標高が低くなっている等高線の分布が見られる地形図において、図の中央を流れる河川の流向（流れる方向）を判断する基準として最も適切なものはどれですか。（2026年 沖縄県公立入試 類似）

1. 標高が高い北東から、標高が低い南西に向かって流れる
2. 等高線が密になっている、より傾斜が急な方向へ向かって流れる
3. 標高が低い南西から、標高が高い北東に向かって流れる
4. 等高線と並行になるように、常に同じ標高を維持しながら流れる

答え合わせ・解説

問1	答え 2 三角州（デルタ）	河川の末端である河口付近では、流れが緩やかになるため、運搬されてきた土砂が堆積しやすくなります。このようにして形成された低平な地形で、大分市の鶴崎や中島付近の地形もこの一例です。土地が低く水が得やすいため水田や商業地に利用されますが、地盤が軟弱で洪水や高潮の被害を受けやすいという特徴もあります。
問2	答え 2 ハザードマップ	大雨による河川の氾濫や土砂災害、地震といった自然災害の被害を予測し、視覚的にまとめた地図はハザードマップと呼ばれます。これには避難場所や避難経路などの防災情報が掲載されており、住民が迅速かつ安全に避難行動をとれるよう自治体によって作成されています。
問3	答え 2 十一月に行われる七五三は、三歳・五歳・七歳の子供の成長を祝う伝統行事である。	七五三は、子供の死亡率が高かった時代に、無事に成長したことへの感謝を込めて十一月に行われるようになった行事です。他の選択肢については、ひな祭りは三月、端午の節句は五月に行われるものであり、灌仏会は四月の釈迦の誕生を祝う行事であるため、時期や内容が異なります。
問4	答え 3 冬に吹く北西の季節風が日本海の上空で湿気を蓄え、山地を越える際に雪や雨を降らせるため。	日本海側の気候では、冬にシベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が、対馬海流（暖流）の影響で水蒸気を多く含んだ状態で日本列島に到達します。これが奥羽山脈や中国山地などの山地にぶつかって上昇気流となることで、大量の雪や雨をもたらします。そのため、冬の降水量が夏と同じか、それ以上に多くなるのが特徴です。
問5	答え 3 リアス海岸	起伏の多い山地が沈水したり、海面が上昇したりすることで、谷の部分に海水が入り込んで形成される地形です。この地形は波が穏やかになりやすいため、真珠やカキの養殖に利用されることが多いのが特徴です。長崎県の九十九島のほか、岩手県の三陸海岸南部や三重県の志摩半島などが代表的な例として知られています。
問6	答え 2 奥行きのある深い入り江が連続するリアス海岸であり、外海の激しい波が遮られて水面が穏やかになるため。	三陸海岸に見られるリアス海岸は、複雑に入り組んだ海岸線が特徴です。この地形は、外海からの強い波を複雑な入り江が吸収・遮断する役割を果たすため、湾内が常に穏やかに保たれます。養殖業ではカキやワカメなどの「いかだ」を長期間海面に浮かべて固定する必要があるため、この穏やかな環境が不可欠な条件となります。一方、海岸線が比較的直線的な北海道西岸などでは波の影響を受けやすいため、三陸海岸ほどの養殖収穫量には至りません。
問7	答え 3 人為的な影響をほとんど受けていない貴重な生態系が維持されているため	白神山地が世界自然遺産に登録された最大の理由は、急峻な地形などの要因により、かつて東日本を広く覆っていたブナ林が「原生的な状態」で広大に残されている点にあります。これに対し、流氷の記述は知床、固有種の記述は小笠原諸島、スギの巨木の記述は屋久島の特徴を説明したものです。
問8	答え 1 大雨が降ると短時間で洪水が発生する危険がある一方、急流を活かした水力発電に利用されてきた。	急傾斜で流速が速いという日本の河川の特徴は、災害面では「短時間での水位上昇による洪水リスク」をもたらします。しかし、その高低差と水の勢いを利用することで、古くから水力発電が行われるなど、自然条件をエネルギー資源として活用する背景にもなっています。
問9	答え 4 フォッサマグナ	日本アルプスの東側に広がる「大きな溝」を意味する地域です。単なる境界線ではなく、地質学的な広がりを持つ帯状の地形であることが特徴で、これによって日本列島の構造が東西に二分されています。
問10	答え 4 桑畑	この「Y字型」の記号は、カイコの餌となる桑（くわ）を栽培する畑を表しています。かつて日本では生糸を生産する養蚕（ようさん）が重要な産業であり、各地に桑畑が見られましたが、産業の衰退とともに現在はその数が大きく減少しています。
問11	答え 4 日本海流	この海流は、低緯度地域から熱を運んでくるため水温が高く、塩分濃度も高いという特徴があります。色が深く青黒く見えることから「黒潮」と呼ばれ、日本の太平洋側の気候を温暖にする要因の一つとなっています。
問12	答え 3 日本海側から標高が上がり、飛騨山脈などの険しい山岳地帯を越えた後、濃尾平野などの標高の低い地域を経て、再び紀伊山地の険しい山並みが現れる。	中部地方から近畿地方にかけての断面図を考えると、日本海側の能登半島から内陸部へ向かうにつれて標高が高くなり、飛騨山脈（北アルプス）などの「日本の屋根」と呼ばれる高峻な山々が存在します。その後、伊勢湾周辺に広がる濃尾平野などの低地を挟み、さらに南下すると紀伊半島を構成する険しい紀伊山地を通過するという、起伏の激しい地形的特徴を捉える必要があります。
問13	答え 1 標高が高い北東から、標高が低い南西に向かって流れる	河川は重力の働きによって標高の高い地点から低い地点へと流れるため、地形図から流向を読み取る際は等高線の数値や分布を確認します。等高線の形状がV字型に標高の高い方へ突き出している場所は谷となっており、その中心付近に河川が位置することが一般的です。この場合、北東の標高が高く、南西が低いという地形的特徴から、水の流れる方向が導き出されます。